

〈図画工作科〉 2年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・技能の面では、個人差や経験差がある。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・好きな色、好きな材料を使って、思いのままに発想し、造形活動を楽しんでいる。
- ・発想や構想がなかなか浮かばず、友達の作品を参考にして取り組む児童もいる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・かいたりつくったりすることが好きな児童が多く、絵や工作に意欲的に取り組む。
- ・自分なりの表現をしたり、もっと工夫しようとして取り組んだりする児童が多い。・友達の作品を鑑賞して、互いに認め合う姿が見られる。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・手や体全体を十分に働かせて活動するという機会を多く設定していくことが課題である。
- ・様々な用具の使い方に習熟する必要がある。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・想像していることを具体的な表現につなげていくことが課題である。
- ・各自の個性に応じて発想や構想が広がるような働きかけをしていく必要がある。
- ・友達の作品を見てよいところを自分の作品に具体的にどう取り入れるかを考えさせることが課題である。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・最後まで楽しんでかいたりつくったりすることが課題である。
- ・感じたことや想像したことから、自分で表したいことを見つけてより積極的に表すことが課題である。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・身近にある材料に働きかけ、体全体を使ってかかわること自体の楽しさを味わわせる。
- ・材料を手にしながらか、形や色、手触り、重さなどを体感させ、活動そのものを認め、思いのままに造形遊びをさせる。
- ・クレパス、はさみ、のりなどの用具について、材料や活動に応じた安全で適切な使い方を指導する。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・材料の形や色などの美しさ、面白さ、不思議さに目を向けさせ、「これを使ってかいてみたい」「たくさん集めてつくりたい」など思いをふくらませるようにする。
- ・扱いやすい材料を使い、それらを並べる、つなぐ、積むなどの工夫する時間を十分に確保する。
- ・個々の児童の発想を肯定的に受け止め、いろいろな発想や構想の仕方を他の児童にも紹介する。
- ・活動途中にも友達と作品を見合い、「ここが面白い」「ここは、どうやってつくったの」などと感じたことを楽しみながら交流する時間を十分に設定する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・友だちとのかかわりを大切に、思いついたことを共有したり友達の考えのよいところを見つたりする中で、表したいことや伝えたいことを個々に感じさせていく。
- ・一人一人が意欲的に活動できるようにするために、魅力的な材料との出会いを重視し、材料や人とのかかわり方への支援を工夫する。
- ・学校行事や普段の様子など、日々の生活の中から表したいことを考えるように支援し、持続的に意欲を高めるようにする。
- ・出来上がった作品に対して、児童相互で共感し、工夫した点を評価しあう。